



ニュースレター

あすか



通算347号

# 令和4年度 医療法人あすか 入社式



2022年度入社式・新人研修を行いました。

4月1日コロナウィルスの感染予防対策をしながら、理事長から介護職4名、看護職1名、児童療育職1名、保育職1名、事務職2名の新入職員に辞令交付が行われました。

理事長からは、新しい仲間を迎えたことの喜びと、新型コロナの感染が拡大する中、昨年医療法人あすかが初めて経験した2点について話がありました。

1点目は、ワクチン接種を希望される地域の方々ができるだけ早く接種できるように、昨年5月から「コロナワクチン接種外来」をいち早く始めました。住民組織との連携をとり、取り残される方がおられないようにしました。その後もコロナ感染収束のため精力的にワクチン接種を実施しました。

2点目は、あすかの施設内で起こったコロナクラスター発生時の対応です。あすかの強い組織力を発揮し職員が協力して感染拡大を防いだ経緯です。

このような医療法人あすかの大きな力となる新入職員に「ともに生き ともに輝く」の社是のもと一緒に働きましようという期待をこめた激励の言葉がありました。



[次ページへつづく](#)

## 医療法人あすかの経営理念 『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。



## 【目次】

1. 医療法人あすか入社式①	1
2. 医療法人あすか入社式②	2
3. 大北和彦医師の追悼	3
4. 事業所だより(高橋内科療養介護)	4
事業所だより(ショート大町)	4
5. 一押し紹介(レジデンス)	5
6. おもしろきかな我が人生～松永美江子さん～	6
7. ご長寿の秘訣(すてっぷ)	7
8. わたしの好きなもの 第88回	8

続いて行われた新人研修では、あすかの『経営理念』、あすかの『クレド』(行動指針)、あすかの『介護方針5か条』の説明をしました。その後、NLP(実践心理学)を使っでの仲間づくりの体験を通じて、新人職員の絆を深めました。午後からは、あすかの職員として目標を持って学習を継続する『あすかのキャリアパス研修制度』の内容を説明し、早速オンラインでの学習に取り組みました。テーマは「社会人としての基本的姿勢」「心を軽くするアンガーマネジメント」の2講です。

新人職員からは「これから自分の行動に責任を持ち信頼される存在になれるように頑張りたい」「法人方針にある地域になくてはならない存在になるために、患者様、利用者様、地域の方々が、何を求めておられるのかを把握し、そこに向き合う姿勢を常に持ち続けたい」「自分自身が行う仕事に誇りを持った行動をとりたいたい」などの力強い決意表明がありました。

満開の桜とともに新人職員の熱意を感じられる、さわやかなスタートになりました。



## ウクライナへの支援



この度、日本医師会が世界医師会の呼びかけに応じ、2022年3月9日、ウクライナへの医療支援のために、1億円の寄付を緊急で行いました。それを受け、医療法人あすかも日本医師会を通して寄付をいたしました。

一日も早い停戦と幸せな日常が戻ることを願っています。

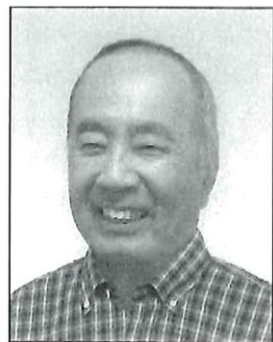




追悼

大北 和彦 先生

令和3年5月15日(土) ご逝去



大北和彦先生を偲んで

令和3年5月15日に、大北和彦先生が急逝されました。その一報を受けた時は、信じられませんでした。

え、なんで・・・絶句しました。お元気だった頃のお姿が次々と思い出され、深い悲しみに暮れました。先生の弟子の一人である私から、尾道時代のご活躍を記し、一文をささげます。

大北先生は、昭和52年に山口大学医学部を卒業後、広島大学医学部小児科学教室へ入局されました。広島大学病院に1年間、兵庫県立こども病院小児科に2年間、倉敷中央病院小児科にも2年間在籍された後、昭和57年に尾道総合病院へ赴任されました。当時は、小児科医3名体制で、外来、病棟、時間外救急と大変忙しかったようです。その多忙な病院で研究をして学位を取得(昭和60年)されたのは、大北先生ぐらいではないでしょうか。先生は「運が良かったんだよ」と笑って言われていましたが、小児科診療後の実験研究は非常に大変だったと思います。しかし、それをやりきってしまう程のバイタリティーに溢れる先生でした。さらに昭和61年には、尾道総合病院の増改築に伴いNICUの新設に尽力されました。特に倉敷での新生児医療の経験を生かし、治療に関してはもちろんのこと、新生児医療を担うスタッフの教育にも力を入れられ、スタッフからの信頼は絶大なものでした。次いで先生は、小児外科の必要性を強く訴えて病院に働きかけました。金沢医科大学小児外科からの派遣を得ることができたのも先生のおかげでした。平成2年に待望の小児外科が尾道総合病院に開設され、小児科一同で非常に喜んだものでした。また、喘息児童の保護者と協力して第1回尾道市小児喘息対策林間学校を昭和61年に始められました。その後は医師会、教育委員会、看護学校等の協力も取りつけ、毎年40人から50人の喘息児童が参加する素晴らしい活動を作り上げられました。大北先生なくては、今の尾道総合

病院小児科はなかったといえるご活躍でした。先生の持つておられるパワーもすごかったですが、何より周りの人を引きつける魅力を持った先生でした。

私は、昭和62年に尾道総合病院へ転勤してから、先生が平成8年に退職されるまで、10年間にわたり先生の下で勉強をさせていただきました。一般小児科はもちろん、低出生体重児から悪性腫瘍まで、本当にいろいろ教わり、先生の後を必死に追いかけていました。診療の場で判断に迷い相談すると「こうせいや」「あれしとけや」「あれしたらええで」と広島弁で助言してくださり、いつも「あ！なるほど」と思える答えが返ってきたものでした。また、ベビーの点滴が確保できないときは、ひょいとやってきて、さっと点滴を確保して去っていく姿にあこがれたものでした。先生が小児科主任部長の就任時に「わしが、これからどんどん対外的なことをやるから、院内はまかせろけー」と言われ、身の引き締まる思いがしました。今思うと頭脳は大北先生、手足は私が担当となって診療をしていた感もありました。

平成8年に尾道総合病院退職後は、尾道市内で「おおきた小児科内科医院」を開設され順風満帆でした。しかし、大病を患われ広島大学病院で大手術を受けられました。手術を乗り越えられて小児科医として一時復帰されましたが、体調等の面から小児科臨床の場からは離れられました。時々かかってきた電話でお聞きする声は、以前と変わらず元気な声でした。大学の同窓会を尾道で開いたと耳にもしました。何年か前に研修会でお会いしたのが、最後になるとは思ってもみませんでした。享年69歳、あまりにも早すぎのご逝去です。大北先生、本当にいろいろご指導いただき有り難うございました。どうか安らかに眠りください。心よりご冥福をお祈りいたします。

ささき小児科医院(尾道市) 佐々木 伸孝

安佐医師会会報 第137号 令和4年3月号より

令和3年5月15日 毘沙門クリニック院長の大北 和彦は69歳の生涯を終えました。

2005年重症の肝硬変で余命があやぶまれましたが生体肝臓移植を受け生命をつなぐことが出来ました。その後も通院治療を続けながらも最後まで好きだった仕事を全う出来ました。毘沙門クリニックの職員、そして利用者様、ご家族には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

尾道総合病院で一緒に働いていた佐々木伸孝先生が安佐医師会の会報に大北先生の追悼文を書いてくださいました。意気に燃え、やりがいのある仕事を仲間と一緒に取り組んでいたことが僥げば、若い時代の弟を改めて知ることが出来てとても嬉しかったです。

(姉・高橋真弓)



# 事業所だより

## ひな祭りイベント

一月遅れになりましたが、3月3日に桃の節句イベントを行いました。

女性の利用様にはお雛様をイメージして、職員特製の頭飾りを付け檜扇を持っていただいて、記念撮影を行いました。カメラを向けると、満面の笑顔の方やお澄まし顔をされる方など様々な表情でポーズ。男性は女性の引き立て役に…ありがとございます。

飾つてある雛人形を見ながら「お内裏様とお雛様が可愛いね」。男性の利用者様からは「自分の子どもや孫にお祝いをしたことを思い出したよ。」としみみされる方もいました。

お茶の時間には、甘酒とひなあられを味わっていただきました。わあ！懐かしくて美味しいとあられを一粒ずつ大事に食べておられました。

最後になりましたが、

どう言えば、雛人形を早くしまわないと結婚が遅れるらしいね」早くしままわらないで大丈夫なの？」とありがたい？ことに、独身の職員を心配される声が出て、大きな笑いにつまれました。

懐かしく、楽しい時間を共有した一日でした。  
(藤野舞)

## 高橋内科療養介護



すてきな笑顔ですね

# 事業所だより

## 4月イベント

段々と温かくなり、春風の心地よい季節になりました。ここのシヨート大町の窓から大きな桜の木が見えます。皆で窓の近くに集まり花見をしました。

皆さん、大きな桜を見て絶賛されていました。

お花見をされた後は、記念にいつもと違うおやつを皆で食べました。

## シヨート大町



窓から見た風景





# 一押し紹介



レジデンスでは、午前と午後の1時間、デイサービスをお休み中の方を中心に体操やレクリエーションを行っています。

当日の体調を確認しながら、4階で体操しますよ。参加されませんか」と各居室を回りお声をかけると、行きますよ。」と元気な声で答えてくださいます。

いざ集まって、始めるとスタッフの声にあわせて、「1、2、3……」と声を出し、足をあげたり、肩を回したり、上半身をひねり伸ばしたりと、1時間思いつきり体操を頑張ってくださいます。

体操が終わると、温かいあまーい飲み物を飲んで、あーおいしいね。」とほっと一息つかれ、心も体も温まって、笑顔になられます。

部屋の中にとくとく、体を動かさないので、体操するのが嬉しいよ」と。

今では開始時間前になるとご利用者から今日は体操あるの?」と職員に声をかけてくださったり、廊下で待っておられたりするようにになりました。少しずつ、習慣化されるようになり、私達にとつてもやりがいを感じる毎日です。

時には、風船バレーや言葉遊びなど頭と体を使うレクリエーションを取り入れ、皆さんが元気で過ごしてくださるよう、スタッフ一同、頑張っていますね!

利用者の皆さん、いつまでも、お元気で過ごされますように。



レジデンス



## あすか居宅介護支援事業所 介護相談会

介護相談会を下記の日程で行います。お気軽にご相談ください。お電話でのお申込みや当日のご相談も受け付けております。

毎月第2火曜日(次回5月10日)

時間:10:00~12:00

場所:あすか居宅介護支援事業所

広島市安佐南区緑井三丁目20-1-103

電話:082-830-5177



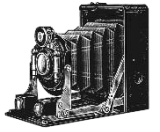


# おもしろきかな我が人生

## 毘沙門クリニック

まつなが みえこ  
松永 美江子さん

昭和14年9月12日生まれ(82歳)



生まれ育った大好きな場所】

広島県山県郡(現・北広島町)の千代田町壬生で生まれたんよ。田舎だけど空気がきれいで大好きなところよ。私は五人きょうだいの三番目。女・女・女(私)・男・女の1男4女よ。

家が懐石料理の「三国屋」だったんよ。役場が近くにあつて町の人や広島市内からも沢山のお客さんが来てくれよつたよ。私も子どもの頃から料理を運んだり手伝いよつたよ。

「花田植」神楽」が大好きだったよ。懐かしいね。よく見に行きよつたよ(笑)

### 子供のころ】

おてんばで元気な子供だったよ。

### 成人のころ】

看護婦になろうと思つた時期もあつたんよ。家を手伝つたりもしたし、編み物講師」をしてたよ。編み物も知らないけどね(笑)

### 結婚してからの思い出】

一人息子に恵まれて幸せな日々を過ごしているよ。人生は色々あるけど、子はかすがい・苦労は買ってでもしろ」：この言葉が私の人生にはぴつたりだよ。家族の一番の思い出は、家族旅行で別府に行ったこと。よく思い出すよ。温泉に入って、美味しいものを食べて、演芸も見たりしたよ。

### 宝物の息子様】

小さい頃から本が好きでね、いつも本を買つてたよ。勉強もよくできたし、大学まで進級させたよ。優しくして私の

ことをいつも心配してくれる子。その息子も結婚していいお嫁さんをもらつてくれて。かわいい孫にも恵まれるよ。

そんな自慢の息子はフジテレビの朝の顔「めざましテレビ」のアナウンサーなんよ。毎朝テレビで顔が見れるから近くにいるようだよ(笑)息子家族と携帯電話で話をするのも楽しみだよ。時々寂しくなると「きみしいよ」を電話をすることもあるよ(笑)

またお寿司を食べに行きたいよ。まぐる、いくら、うにが食べたいよ！



### ●息子様から松永様へ 息子様からみたお母様とは？】

僕が東京に出て来てからはすっかり淋しがり屋になりましたが、昔は厳しくてよく叱られていました(笑)でも好きな本は必ず買ってくれたし、教育にはお金をかけてくれた。だから今僕はこうしてアナウンサーになれているんだと思います。

### 【お母様にひとこと】

東京に出て40年・・・淋しい思いをさせて申し訳ないです。毎朝テレビに出ることが親孝行だと思い、頑張っています。ちゃんと早起きして見てくださいます。

今3才のひ孫が大きくなるまで元気でいてくださいね！またお寿司を食べに行きましよう！

### 職員より

松永様にお話を聞いて心に残つた言葉。若い頃には苦労もしたけど今は幸せ。歳を取つてからの不幸は冴えんけど今本当に幸せだよ。この歳になって「幸せ」と感じる私は本当に「幸せだよ」と微笑みながらも目には涙がありました。すてきな涙でした。素晴らしい松永様が人生そのものでした。私も思わずもらい泣きをしてしまいました。そんな松永様：笑顔が素敵で優しい方です。職員の礼儀作法には時に厳しい言葉もいただきます。背筋がピシツとします。寂しがり屋で楽しいことが大好きな松永様。これからも沢山笑つて思い出を作つていきましようね。大好きです。



満開の桜の下でピースサイン



優しい笑顔です◎



# 「長寿の秘訣



ささい しょうそう  
佐々井 昭三様



昭和3年4月23日生まれ(93歳)

長寿の秘訣は小さい子ども達と触れ合う事かなと思つとるんよ。

それはなぜかというとなんぼ85歳くらいから90歳になるまで、保育所へ行つては紙とんぼを作つて持つていき、園児に紙とんぼの講演会をしていた。紙とんぼで遊んでいる園児の喜ぶ姿が嬉しく、それが私の生きがいであった。

きっかけとなったのは、とんぼ協会の会長との繋がりがあり、子ども会でガリガリとんぼを提供していた。それに子ども達がすごく興味を持ち楽しんで遊んでいた。

私も小さい頃から趣味で物作りをしており、竹とんぼや竹馬を作る事が好きだった。でも子ども会が減少していき、触れ合う場所もなくなりつつあった。何とかしたいと思う気持ちがあり、保育所なら園児もたくさんいるし経験を活かす事ができるんじゃないかと思つたんよ。

まずは自らの足で保育所へ出向き、園長先生と交

## すてらび

渉(日程調整)などの話から始めた。園児には安全に作業ができるように、竹ではなく紙でとんぼを作った。園児には色塗りをしてもらい、一人一人オリジナルのとんぼを作ってもらった。自分で作ると、いつまでも大切に使うてくれるし、宝物にしてもらえるからね。

紙で作るとんぼは軽いから、高さや距離、長く飛ばす為にはどうしたらいいか研究を重ねに重ねた。すごい苦労したよ。その結果、ある保育所で2階建ての建物を超す程の紙とんぼが完成し、園児はもちろん、私も物凄く嬉しくてその時は一緒に喜んだ。

苦労はしたけどこういう楽しさがあるからやめられなかったね。保育所の園児から段ボールいっぱいになるくらいの手紙を沢山もらったんよ。それから評判を聞いてか、安佐南区の保育所はもちろんの事、市内の方からも是非、講演してほしいとの声がかかるようになった。そりゃあ喜んで講演しに行ったよ。それからあつという間に90歳を迎えた。やりたい気持ちにはあつたが、身体も思うように動かなくなるし、これを始める前から90歳でやめようと決めていた。今はコロナでダメだけど、また子ども達と触れ合い、一緒に遊べたらいいなと思つとるよ。

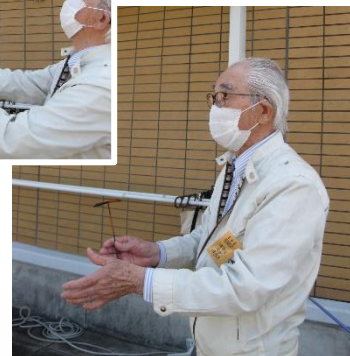
### 職員より

竹とんぼや工作の話となると、一生懸命作り方を教えて下さいます。自宅にはまだ沢山の材料があるそうです。時々すてらびで、作った作品を披露して下さいます。少年のように気持ちが若返り、とても楽しそうにお話して下さいます。コロナが落ち着いたら、また子ども達と触れ合える場所が出来ると思います。

(青戸 友江)



手作り竹とんぼ



竹とんぼ飛ばし

【食べること】



つどいの家

せんば ちず 子さん(87)  
仙波 知津子さん(87)

好きなものは何ですか？とお聞きすると、食べることは好きですね、と教えて下さいました。また、食えることだけではなく、ご自身で料理をすることもお好きとの事です！特に好きなものはお寿司！作るのも得意で、ばら寿司、いなり寿司、押し寿司、岩国寿司：色々教えて下さいました。仙波さんの作るばら寿司は、鮭をご飯に混ぜ、大葉を入れて、錦糸卵はご飯が隠れるほど多めに、そしてきゅうりも入れるんですよと教えて下さいました。

また、今回のインタビュでは仙波さんが台湾の方に聞いて作ったという、「ちまき」のお話もありました。日本で5月に食べるちまきとは少し違うものとの事です。ごま油は少しで、もち米をたくさん使って、干しエビや貝柱、ホタテなども入れて作るそうです！とても美味しそうですね！仙波さんはいつも少しアレンジして作るそうです。

職員より

献立を発表する時にいつも真剣に聞いて下さっています。そしてなんと、食べながら具に何が使われているか考えて、家に帰ってつどいで出たおかずなどを作ることもあるそうです！仙波さんの料理のお話を聞いてみるとだんだんお腹がすいてきました！料理上手な仙波さんのお話、これからもたくさん聞かせて下さいね。



今日の献立はなにかしら・・・



貼りの絵をされています



医療法人あすかの関連施設

緑井3丁目20・1

あすか居宅介護支援事業所

082-830-5177

あすか病児保育室

児童デイサービス ぱるみどりい

緑井2丁目12・25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター

まやるちよーく

通所リハビリテーション すてっぷ

シヨートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所

つどいの家

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門クリニック  
シヨートステイ いわや

緑井2丁目11・11・102

あすか訪問看護ステーション

毘沙門台東1丁目24・16

デイサービスセンター

しゅりあちよーく

あすかケアプラザ 中須1丁目26・12

ヘルパスステーション あすか大町

デイサービスセンター あすか大町

シヨートステイ あすか大町

サービス付き高齢者向け住宅

レジデンスあすか

あおぞら保育園

緑井2丁目9・31・102

毘沙門台東1丁目24・16

児童デイサービス ぱるびしゃもん

児童デイサービス ぱるひよし

“ニューズレターあすか”は  
当法人のホームページ上でも見ることができます  
全編カラーで掲載しておりますのでぜひご覧ください  
<http://www.asuka-net.or.jp>



医療法人あすか

Mail: asuka@smail.plala.or.jp

〒731-0103 広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143 FAX:082-879-3190

(編集:今中 峰三子 澄川 幸子)

【編集者のつぶやき】

近ごろ、買い物と言えばネットでポチポチしている私です。洋服の失敗はあまりないですが、この春に買ったサンダルは大きすぎだったし、パンツはきつかった。(笑)靴はやっぱり試着したほうがいいですね。小さな部品とかは型番がわかっているれば断然ネットが早いです。ホームセンターをウロウロしなくて済みます！  
直近の面白い物は「芝刈り機」。庭の芝生は母が手で刈っていたんですが、ぼちぼちしんどくなってきたようですね。次期芝刈り係に任命されたのでポチッ！